

# 第1回 子どもの貧困対策検討部会 議事録

## 1. 開催日時

平成 30 年 8 月 20 日（月） 13:00～14:00

## 2. 開催場所

豊田市役所東庁舎 4 階 東 41 会議室

## 3. 出席委員

市民公募委員		山岡 裕子
豊田市子ども会議	代表	柏木 彩百合
豊田市子ども会育成連絡協議会	委員長	山下 茂子
豊田市私立幼稚園協会	市推進委員	武田 洋子
豊田市青少年健全育成推進協議会	会長	福田 文彦
豊田市こども園保護者の会	会長	渡瀬 裕美子
豊田市母子保健推進員の会	副会長	山口 友美
豊田市民生児童委員協議会	主任児童委員部会長	湯浅 つき子
豊田市子どもの権利擁護委員	代表擁護委員	間宮 静香
連合愛知豊田地域協議会	代表	小澤 仁和
NPO 団体 フリースペース K	代表	釘宮 順子
認定 NPO 法人 子どもの虐待防止ネットワーク・あいち（CAPNA）	理事長	萬屋 育子

## 4. 欠席委員

市民公募委員		鬼木 利恵
市民公募委員		西村 新
豊田市 PTA 連絡協議会	会長	山内 祥正
椋山女学園大学	教授	早川 操
愛知県豊田加茂福祉相談センター	センター長	三浦 宏太

## 5. 議事次第

- (1) あいさつ
- (2) 子どもの貧困対策検討部会について
- (3) 部会員紹介
- (4) 部会長選出
- (5) 部会長あいさつ
- (6) 議事
  - ① 子どもの貧困対策検討部会の設置について
  - ② 子どもの貧困対策について
- (7) 次回以降の日程について

## 6. 議事要旨

<b>(1) あいさつ</b>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年 5 月に「第 1 回豊田市子どもにやさしいまちづくり推進会議」を開催させていただき、その中で「子どもの貧困対策検討部会」の立ち上げについても説明させていただきました。子ども総合計画については、現在、市民意向調査の結果をとりまとめている段階です。この調査の中にも子どもの貧困対策に関する設問がありますが、まだとりまとめが終わっておらず、本日は提示させていただくことができませんが、子どもの貧困の定義等を整理していますので、ご議論いただきながら、次につなげていければと思います。</li> </ul>
<b>(2) 子どもの貧困対策検討部会について</b>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 1 にあります、豊田市子ども規則第 23 条第 1 項において、「推進会議は、必要に応じて、部会を置くことができます。」とあります。5 月の「第 1 回豊田市子どもにやさしいまちづくり推進会議」において、事務局から「子どもの貧困対策検討部会」の設置についてお諮りし、ご承認いただいています。</li> <li>・次第の裏面に名簿がありますが、17 名から参画の意向をいただき、野口会長より承認いただき、指名は名簿に代えさせていただきますので、よろしくお願いします。</li> <li>・専門家の意見を聴く必要があれば、会議に出席いただき、説明や意見を聴く機会も出るかもしれませんので、ご承知おきください。</li> <li>・子ども規則 19 条の規定は、部会の会議においても準用するということで、本日 17 名中 15 名の委員にご出席いただいておりますので、本会議が成立していることをご報告いたします。</li> </ul>
<b>(3) 部会員紹介</b>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会員紹介は、名簿に代えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</li> </ul>
<b>(4) 部会長選出</b>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田市子ども規則において、部会長は部会に属する委員の互選により決めますので、ご推薦があればお伺いしたいと思います。</li> <li>・ご推薦がないようですので、事務局の腹案にて推薦をさせていただきます。事務局としては、間宮委員に部会長をお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。</li> </ul>
各委員	(異議なし)
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご異論はなさそうですので、部会長は間宮委員をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</li> </ul>
<b>(5) 部会長あいさつ</b>	
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田市子どもの権利擁護委員で弁護士をしています間宮と申します。よろしくお願いいたします。子どもの貧困について専門というわけではありませんが、子どもの権利に関するものと認識していますので、そういった観点から議論できればと思います。</li> </ul>
<b>(6) 議事</b>	
<b>① 子どもの貧困対策検討部会の設置について</b>	

部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに、子どもの貧困対策検討部会の設置について、事務局より資料説明をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 2 について説明いたします。子どもの貧困対策検討部会の設置の目的は、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることがないように、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備することが重要であり、子どもの貧困対策は、社会全体で取り組むべき課題となっています。今後、実効性のある子どもの貧困対策として行うべき施策等について、今回設置する子どもの貧困対策検討部会で専門的に協議し、子どもにやさしいまちづくり推進会議で決定することとします。</li> <li>・今後のスケジュールですが、第 2 回検討部会を 9 月 19 日、第 3 回検討部会を 10 月 17 日に開催する予定です。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局からの説明内容について、ご意見・ご質問はありますでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少し補足をさせていただきます。子どもの貧困対策検討部会での議論の結果を計画の中に盛り込んでいくことになります。委員の皆さまからは、それぞれの立場でご活躍されている中で感じている現場の状況、抱えられている課題などを出していただき、そこから取り組むべき課題を見つけていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な分野から課題が出てくると思います。後でまた質疑の時間を取りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</li> </ul>
<b>(6) 議事</b>	
<b>② 子どもの貧困対策について</b>	
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に、子どもの貧困対策について、事務局より資料説明をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 3 について説明いたします。子どもの貧困の定義ですが、絶対的貧困、相対的貧困、はく奪、社会的排除の 4 つとなっています。これに対し、国では「子どもの貧困対策推進法」「子供の貧困対策大綱」を、愛知県では「子どもが輝く未来へのロードマップ」を示しています。国・県に対応した市の事業としては、教育の支援、生活の支援、保護者への就労支援、経済的支援、子ども食堂、生活困窮世帯の小学生らの学習支援があり、これらは大人の目線での事業になります。</li> <li>・子どもの目線では、子どもらしく生きられない、夢がかなわない、将来に希望が持てないといった問題があります。これらを踏まえて課題を整理すると、食の問題、健康の問題、家族の問題、教育の問題、友だちの問題、心の問題となると思います。それぞれの現場において、貧困からくる課題を把握し、必要な支援に繋げる体制が必要だと考えています。</li> <li>・豊田市の強みとして、子ども条例、総合的な福祉相談窓口、地区コミュニティの充実があり、これらを合わせて、自己肯定感の向上、地域の支援力向上、ハイリスク家庭への対応、そして、子どもの健やかな成長、貧困の連鎖解消が、豊田市の子どもの貧困対策の骨格になると考えています。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 4 について説明いたします。子どもを取り巻く様々な問題がありますが、豊田市子ども条例からの整理が資料の表になります。また、裏面の下に図がありますが、こうした課題により、やりたいことができない、そして意欲の低下につながります。また、自分の存在価値、居場所がない、これは自己肯定感の</li> </ul>

	低下につながります。こうした結果として、自分らしく（子どもらしく）生きることができないということが、子ども目線での課題と考えています。
部会長	・事務局からの説明内容について、ご意見・ご質問はありますでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、夏休みの学校行事がほとんどなくなり、これまでにない夏休みとなりましたが、豊田市として、子どもたちがどのように過ごしたのかをどのように把握しているのかが気になりました。</li> <li>・部活動がなくなり、朝から交流館に来て勉強をして、お昼はコンビニで買ってご飯を食べるという中学生もいますが、こうした状況を誰か把握しているのでしょうか。夏休み後の子どもたちの様子をどのように把握されるのでしょうか。伸び伸び楽しく過ごせた子どもも多いと思いますが、中には自宅が友だちのたまり場になったという子どももいますので、少し気になりました。</li> </ul>
事務局	・ご指摘いただいたことは、市としては把握・想定していない課題だと思います。市としては、事故を未然に防ぐための対応に追われたというのが実際のところだと思います。ただし、来年以降も続く可能性はありますので、こういった状況が起こっていたのか把握し、今後に活かしていきたいと思います。
部会長	・一方で、交流館が子どもの居場所になっているというのは良いことだと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの貧困」のイメージがつかない、豊田市に貧困状態にある子どもがいるのだろうかというのが率直な感想です。例えば、生活保護受給率や母子家庭数の推移、虐待状況など、こうした基礎的なデータと他市との比較がないと、どこまでを対策の対象とするのか、この場でこういった議論をすべきかが分からないと思いました。</li> <li>・豊田市には児童養護施設があり、入所している子どもの約 7 割が豊田市の子どものです。また、敷地内には母子生活支援センターもあります。要望として、高校進学率は 9 割を超えていますが、大学進学率は 1 割程度にとどまっていますので、給付制奨学金など、豊田市として対策を取ってもらいたいと思います。</li> </ul>
部会長	・具体的なデータは議論にあたって必要だと思います。子どもの貧困の定義がありますが、どこに対して対策を打つのでしょうか。何を目標とするかも重要だと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的なデータについては、一度整理させていただき、提示させていただきたいと思います。一般的な子どもの貧困は、定義の中の相対的貧困に該当すると思います。簡単に言うと、日本における平均的な所得収入の半分に満たないところを相対的貧困と言います。これに対して、国や県では対策を進めようと法律を整備したりしています。豊田市においても、資料 3 にあるように様々な事業を実施していますが、これらをより深めていきたいと考えています。相対的貧困は、経済的困窮に着目していますが、豊田市としては、子ども条例にある子どもの権利の保障の視点から、子どもにとって生活しやすい環境づくりが貧困対策につながると考えています。先程の夏休みの子どもの居場所づくりも含めて、少し幅広い形で取り組んでいきたいと考えています。</li> <li>・もう 1 つ、貧困は連鎖すると言われています。つまり、塾に行きたいけど行けない、大学に行くのが難しい、就職が難しい、収入が得られず生活が難しい、こういったサイクルがあると言われているので、そこへの対策も必要だと考</li> </ul>

	<p>えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田市としては、経済的困窮への対策もありますが、子どもが子どもとして豊かに生きられる権利保障を貧困対策と捉えていきたいと考えています。資料 3 の課題整理は事務局で話し合っただけですが、経済的困窮な状態から派生する様々な課題に対処していく必要があると考えています。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県でも給付制奨学金の取組を行っています。豊田市内に施設があるので、対策を考えていきたいと思っています。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対策については、次回以降で検討していきたいと思っています。</li> <li>・こうした状況は「どうせ大学には行けない」という自己肯定感を損なうことにもつながると考えています。こうした課題にどのように対応するのか、検討していきたいと思っています。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 2 次子ども総合計画に基づき取り組んでいる事業について、具体的な内容を会議資料としていただければと思います。</li> <li>・子どもの貧困対策というと経済的な支援に意識がいきがちですが、豊田市では子ども条例があり、もう少し幅広く捉えていきたいということです。この点も含めて、いかがでしょうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの課題があり、全てに対応するのは難しいと思います。広く薄く対応するのか、重点的に対応するのか、どうされるのでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点的に取り組むべきものといったように、濃淡はつけていくことになると思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分らしく子どもたちが育つ」とありますが、自分らしく生きるということについて自覚し、色々な物事に対して取り組んでいく下地を作らないと難しいと思います。自分はこれが得意だから、こういう学校に行って、こういう仕事について、さらに磨いていきたい、こういった選択を早い段階から考えていく練習をしないといけないと思います。最近では、大学に行きたい行きたいと言うものの、目的がないということが多い気がします。豊かに育つというのは、自分が持っている力を発揮するために、その力を自覚できるようみんなから認めてもらうことだと思います。</li> <li>・いじめの問題についても、いじめは集団化するものですが、それはリーダーがいて負のリーダー性を発揮してしまうに起因していると思います。リーダーが持つ正のリーダー性をみんなが認めていくことが重要だと思います。</li> <li>・具体的に何をすべきか、1 つは教育（学校の環境整備や教員）にお金をかけることだと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの貧困について、貧困と貧乏は違います。格差の問題でもあると思います。最近は働くことが良いことという雰囲気がありますが、働いていると自分の子どもよりも働いている親をみてしまいます。何が大事なのか、クーラーをつけるのも大事ですが、自然の力が失われることもあるので、バランスをみるのが重要だと思います。</li> <li>・子どもの貧困には、虐待や DV、離婚など、様々な問題が重なって来るといいます。これらを全体的に捉えつつ、何をすべきかを議論したいと思っています。社会にとって大事なものは何か、豊田市では何が課題なのか、大きな目でみながら考えないと事業だけで終わってしまいます。また、豊田市ならではの貧しさ</li> </ul>

	<p>というものもあると思います。</p>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの権利相談室にいますが、外から見ると豊田市には異質なところがあります。例えば、トヨタカレンダーがまかり通っていることや、いじめについても、父親の会社の序列が子どもに影響していることもあります。大人の社会が子どもの社会に影響を及ぼしてしまっています。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの貧困として、経済的困窮だけでなく、幅広くみていきたいと考えていますが、幅広くし過ぎるとぼやけてしまいます。そのため、バランスは重要だと思います。豊田市の特徴的な課題をしっかりと抑えつつ、事業を打つことでどのような良い影響を及ぼすかを考えていかなければなりません。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども食堂は居場所であり、豊田市には多くの居場所があると思います。安心できる居場所を調査していければと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3人の子どもの親ですが、子どもの貧困の話を聞いていて、大学や塾に行かないと貧困と言われてしまうのかと思いました。母親としては家にいたいと思いますが、そういったものも考えてしまいます。田舎で学童もなく、子どもの迎えもあってフルタイムでは働けません。そんな中、働かなくてはならないという空気が理解できません。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田市は、街中の大規模校と地域の小規模校という格差もあります。何か問題があった時、大規模校ではクラス替えができて、小規模校ではそれができません。1つの施策で全てを解決することはできないと思います。</li> <li>・働かなくてはならない空気感という話がありましたが、色々な形態が認められることが重要です。それは、子どもが自分らしく生きることにつながると思います。大学も行きたくなければ行かなくても良いと思います。ただ、支援が必要な子どもにはしっかりと手を差し伸ばすことができるようにならないといけないと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成推進協議会でも、親育ち交流カフェ等の様々な取組を行っていますが、対象の子どもがどれくらいいるかが分からず、支援が必要な子どもを集められません。宣伝の仕方など、どうしたら良いか悩んでいます。活動の士気にもつながります。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間とのコラボは重要だと思います。本当に支援が必要な子どもに声が届かないというのは私も実感しています。豊田市として、この件についてはいかがでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一番難しいのはプライバシーの問題です。色々な情報が市に入ってきて、それをどこまで提供できるのか、整理が必要です。また、アプローチを望んでいるかどうか、踏み込むかどうか、その線引きが難しいところです。団体とのネットワークの中で、地域全体で子どもを支える仕組みづくりを考えていきたいと思っています。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知らない人だからこそ相談できるということも、知っている人だからこそ相談できるものがあります。つまり、色々な網を張ることが重要だと思います。民間の取組がどれくらいあるのかについても、情報があると良いと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しいケースを抱えていますが、その家庭が支援を望んでいるかどうか分かりません。どこがどのように手を伸ばすべきか、話し合えると良いと思います。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域、子ども個人が抱える様々な課題を支えていくことが重要というこ</li> </ul>

	とだと思ひます。これに基づき、今後施策を検討していければと思ひます。
<b>(7) 次回以降の日程について</b>	
事務局	・第2回検討部会を9月19日(水)午後3時から、第3回検討部会を10月17日(水)午前10時から開催させていただき予定ですので、ご予定をお願いします。

－ 以 上 －